

発表会を終えて、初めての登園日。みんなで発表会の映像を見ようとして年中さんがホールに集まりました。

大きなスクリーンにオープニングの様子が映し出されると、「おお～！！」という声があちらこちらから聞こえてきます。自分が立っていた舞台を客観的に見て、舞台の大きさやお友達の多さに驚いたのでしょね。発表会当日のお客さんと同じような反応でした。さて音楽の部になると、全力の歌とエア―楽器演奏が始まります。口ずさむというより本気の歌声で映像の音量よりも子供たちの元気いっぱいの声がホールに響きます。体操やダンスの部では、どうしても動きたくなってお友達に(映像を見たいお友達が見やすいように)コーナーを設けました。すると次々に子供たちがコーナーへ駆け寄り、いつの間にやら覚えたのか、他のクラスの演技も楽しそうにやっています。女の子も男の子の体操をやったり、男の子も女の子のダンスを踊ったりまだまだ年中さんらしいかわいさの残る姿も。自分の姿を確認するよりも、音楽がかかると思わずやりたくなってしまおう！！発表会に向けて、やらされるわけではなく、やりたい！！といかに自分の意思をもって練習を楽しんできたかが現れた一場面でした。

初めて、体操の音楽を男の子に聞いてもらったとき「なんかかっこいい！！」「強そうな曲だね」とどんな体操をやるのか、わくわくした表情でした。年少の発表会や年中の運動会では女の子と一緒にダンスをしていたのが、いよいよ僕たちだけのかっこいい体操だ！！と言わんばかりの期待にあふれた表情です。少しずつ練習が始まると、とにかく音楽に合わせて友達と一緒に身体を動かすのが楽しんでいました。動きやタイミングを覚えると、どんな雰囲気の商品なのか考えて、もっとかっこよくするためにはどうしたらいいんだろうという真剣なまなざしに。「先生、今日の僕はどうだった??」と先生のアドバイスを聞いたり、「おうちでも練習してみたんだけど・・・」と自分でも練習したりしてかっこいいポーズや動きができるようになってきました。先生や友達に褒められるようになると自分の動きに自信が出てきて、さらに体操をするのが楽しくなって生き生きとした表情に。そして、ご家族の方やお客さんにもっと見てもらいたい！！という気持ちで発表会を迎えました。発表会当日はドキドキしたような、でもかっこいい自分を見せるんだ！！という決意の表情で舞台に向かっていった子供たちは、キラキラの照明とあたたかい拍手を浴びて、楽しかった！！やりきった！！と清々しい表情で幕へ戻ってきてくれました。年中さんでも、“こんなかっこいい自分になりたい！！”という自分なりの目標を持って発表会に向かい、やりきった達成感を味わうことができるのだなと感心しました。また、この経験をした年中さんの来年が楽しみにもなりました。たった4分ほどの作品は、この数か月で少しずつ変化してきた子供たちの気持ちやたくさんの想いが積み重なり、照明にも負けないくらい子供たちのやる気と表情が輝くすてきな作品となりました。

発表会後のある日、年長さんが「ハーモニカ今から吹くんだけど、聞きに来る??」と年中さんのお部屋へやってきました。誘いに来てくれた年長さんについてホールに行ってみるとずらっと年長さんがホールに集まって並んでいます。発表会当日、体調を崩してお休みしたお友達の為に、発表会ごっこを開催したようです。

初めて、間近で聞く年長さんのハーモニカの音色や歌声にドキドキわくわくといった表情よりかは、ぼかんとした表情で聞いています。多くの子が口にした「すごかった!!」の言葉が年長さんの意気込みに圧倒されたその表情を表していました。そんな年長さんの様子を見て「僕もやりたかったな～」と発表会当日、体調不良でお休みした子がぼつり。「僕たちも発表会ごっこやろうよ!!」と手作りの衣装や手具を作って発表会ごっこの準備が始まりました。発表会は終わりましたが、積み重ねてきた経験をもとに幼稚園の色々な場所でまだまだ余韻が続いています。

保護者の皆様には、衣装の手直しをはじめ、たくさんのご支援とご協力をいただき本当にありがとうございました。この貴重な経験を生かして、残りの年中さんとしての生活がより豊かなものになるように、私達もさらに努力をしていきたいと思えます。

